



中国大会初! チャレンジマッチを開催します。

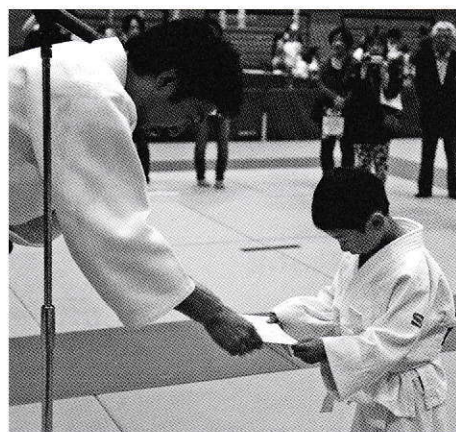
「柔道を習い始めて間もないし、試合をするのはちょっと早いかなあ」
「ちゃんとした試合に出るのはまだ怖い…」という、経験の浅いお子様も
安心して出られる「チャレンジマッチ」を開催いたします。

他地区では何度か行っており、
実力的にあまり差のない対戦相手ということで安心。
いい経験ができたという好評です。

大会に出る自信がないという子も、
初めての“経験”にはもってこいのチャレンジマッチ。
ぜひ、挑戦してみてください。

全選手、2回ずつ試合を組ませていただきます。
柔道歴、学年、身長・体重等考慮に入れ、
大会事務局が対戦相手を決定させていただきます。

なお、チャレンジマッチに関しましても、エントリー方法は同様です。



保護者の部 参加者インタビュー



毎回、大変な盛り上がりを見せている「保護者の部」ですが、
ここでは、ご出場いただいたお父さんやお母さんに、
エントリーの際にうかがった意気込みや試合が終わった後に
うかがった感想の一部をご紹介します。
—— 次はアナタの出番です!

エントリー時の意気込み

青森県の天内さん(女性/初段)

「高校卒業以降ずっと離れていたんですが、3年くらい前に、子供が柔道を始めて、そこで道場の先生から低学年の指導をお願いされて、再び柔道に関わるようになりました。

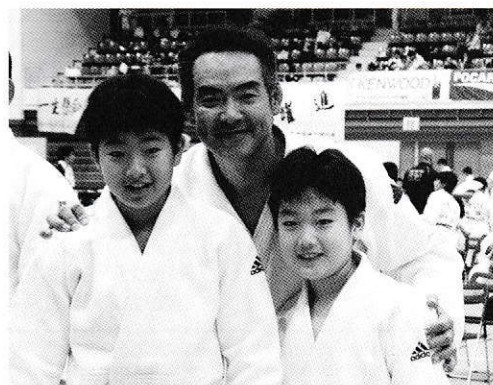
試合は高校生の時以来なので、ホントに久しぶり。大会に向けて少し自分の練習もやろうと、母校に練習に参加し始めたのですが、体が痛くて(笑)。とにかく息が続かないです。

今、子供たちの指導をしていて、なかなか成績の残せない子がいるんですが、気持ちで負けているように思うんですね。なので、勝ち負けに関係なく、とにかく一生懸命にやる、相手に向かっていく姿を見せたいと思います」

愛媛県の大西さん(男性/二段)

「道場の練習は週3日ですが、きちんと行っているのは土曜日くらい。子供たちには普段から『負けてもいいから全力でやろう』と言っているので、自分自身も勝ち負けを気にせず、全力で試合に臨もうと思っています。『お父さん、昔柔道をやっていたんだよ』と言っても、実際に見ないと、なかなか想像できないと思うので、こうやって真剣に試合する姿を子供たちに見せられるのはうれしいですね。いい機会をもらえたことに、本当に感謝しています。結果うんぬんではなく、真剣に戦っている姿が子供たちの心に残ってくれたらと思っています」

出場した後の感想



神奈川県の石村さん。試合後にお子様と。いい笑顔でした

神奈川県の石村さん(男性/43歳)

「いやあ、思うようにはいかないですねえ。試合をやっていると、いつも子供に言っていることを思い出すんですよ。『前が出る』とか『組んだら先に掛ける』とか。でも、いざ自分でやるとなるとなかなかできなくて……。これから子供たちに少し優しくなりそうです(笑)。親子と一緒に試合に出る機会なんてないですからね。きつかったけど、本当に楽しかったです」

富山県の林さん(女性/初段)と福井県の北里さん(女性/無段)

「試合は高校生の時以来ですごく緊張しました。相手の北里さんは初めて2年ということで、まだ白帯でしたが、とても強かったですし、なにより、母親になってから柔道を始めて、試合をしようと思うその気持ちが素晴らしい」と林さん。

「負けたのはちょっと悔しいですけど、とても楽しかったです。子供と一緒に柔道を始めたお母さんはほかにいると思うので、もっと出てきてほしいですね」と北里さん。お二人とも、子供たちの大声援を受けながら真剣に試合をし、試合後はすっかり打ち解けていました。